

令和6年10月27日執行
福島県第2区 衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報
福島県選挙管理委員会

今こそ、福島の転換点。若さと情熱で、次の時代を切り拓く

ひとりひとりが、生きがい・誇り・
希望を持って輝く社会へ

[根本拓プロフィール]

1986年生まれ、38歳。
郡山市出身(ザベリオ幼稚園・小学校)
2009年/東京大学法学部卒業(卒業生総代)
2011年/東京大学法科大学院卒業(首席卒業)
2012年/岩手県釜石市の復興推進本部で勤務。
2012年/日本最大手の西村あさひ法律事務所での
いわゆる「国際弁護士」として勤務。
2017年/米国ハーバード大学法科大学院卒業
2018年/米国ワシントンDCの防衛系企業の
コーエングループで初の日本人として勤務。
2019年/フランス・パリの国際機関OECD(経済協力開発機構)
で勤務、国際的な政策作りに関与。
2023年/弁護士としての仕事を一切やめて福島へ帰還。
地域回りに精力を注ぎ2万軒以上を歩く。

www.taku-nemoto.com



根本拓の5本柱

- 柱1 活力ある福島・日本をつくる
- 柱2 生活の安心を守る
- 柱3 日本の平和と安全を守る
- 柱4 働きやすく子育てをしやすい社会をつくる
- 柱5 福島の復興を推進する

家族を愛する「家庭人」
家庭では共働きの妻とともに二人の男子の子育てに奮闘するひとりの父。次男の誕生直後は2ヶ月仕事を休んで育児・家事に専念。子育ての大変さと尊さを肌で感じるとともに、男女ともに社会で生き生きと力を発揮する新しい時代の働き方や家族のあり方を追求する。

故郷の発展を強く願う「福島人」
故郷から日本を良くするために、弁護士としての仕事を一切やめて福島に帰還。それ以来、酷暑の日も吹雪の日も、地域を隅から隅まで2万軒以上歩き続ける。そのなかで、故郷の素晴らしさを身をもって感じながら、課題の解決に情熱を燃やす。

福島から世界に羽ばたいた「日本人」
福島の豊かな自然と人の温かさの中で育ち、いわゆる「国際弁護士」として働いた後に世界に飛び出し、小さな日の丸を胸に一人の日本人としてアメリカやフランスの大学・企業・国際機関で活躍。国際社会において腕一本で勝負してきた。

根本拓ってどんな人？

挑戦。

ともに
未来を
拓こう



自民党公認
根本拓

たく

38歳

玄葉(げんば)の提案

「命」「地域」を災害から守る。
・平時より防災・減災対策に資する官民の取り組みを国が強力に後押しし、社会全体を防災化
・阿武隈川をはじめとした河川の流域治水対策の推進・強化

「食」を守る。
・米以外の作物にも戸別所得補償を導入
・新規就農者支援策の抜本拡充
・酷暑などの気候変動にも対応した収入補償策の検討

医療・教育・子育て・介護は最優先。
・児童手当の対象を高校生まで拡大
・国公立大学の授業料を無償化
・治療中心の医療から予防医療に転換
・看護師・介護士・保育士教員の処遇改善

「地方重視」の政治に本気で取り組みます。
・企業・大学などの地方への移転を大胆に誘導
・地方発のスタートアップ事業を強力に支援
・エネルギーの「地産・地消」の仕組みを構築
・デジタル化(6G)のインフラ整備は地方から

「信なくば立たず」
抜本的な政治改革を断行します。
・裏金の温床である政策活動費の廃止
・政治資金の世襲禁止

「うそをつかない、ごまかさない、いばらない」
初当選以来の一貫した政治姿勢です。

私の決意

政治を正します。そして、「量より質」を重視し、持続性・多様性・包摂性のある真に豊かな日本につくり直します。

玄葉光一郎



げんば光一郎

60才

裏金・癒着・格差拡大
汚れた政治にさよならを

くらしに希望の1票は丸本ゆみこへ

チェンジ1 くらし優先で経済を立て直す

最賃時給
でも1,500円
中小企業支援
10兆円とセット

労働時間
の短縮
「自由な時間」
もてる社会に

消費税は廃止
緊急に5%へ
行きすぎた大企業
優遇税制ただす

物価に見合う
年金引き上げ
医療・介護の
負担軽減を

チェンジ2 外交の力で平和をつくる

憲法9条いかし
平和の
国際連帯

ASEANと協力して
東アジアの
平和構築

自民党政治は
軍事費2倍化、武器輸出解禁、
自衛隊の米軍との一体化。
軍拡競争の危険な道。

チェンジ3 ジェンダー平等の日本へ

男女の
賃金格差なくす

選択的
夫婦別姓

痴漢ゼロ
DV根絶

同性婚実現
結婚の平等を

チェンジ4 原発ゼロの日本へ

海洋放出中止
地下水流入の抜本対策

地域が主役の
再エネ推進

気候危機打開
石炭火力ゼロへ

CO2を
60%削減

原発事故を繰り返さない
再稼働・新増設ダメ絶対!

須賀川市議を5期20年勤め、県議選2回、2022年参院選の比例候補としても挑戦してきました。私の信念は、平和と国民のくらしを大切にする政治を実現することです。
裏金問題や統一協会などの癒着にふたをして、大軍拡、大企業の儲け最優先の経済にひた走る自民党政治を終わらせましょう。日本共産党の躍進で、国民のくらしに寄りそった政治の実現へ。みなさんの政治を変えたい思いをぜひ託してください。



丸本

日本共産党

ゆみこ

衆議院選挙は
2回投票します

比例代表は日本共産党と政党名を書いて
投票してください



【プロフィール】1962年大阪府八尾市生まれ。横浜女子短期大学卒。保育士、横浜市立保育所に勤務。夫の転勤で須賀川市へ。3人の子どもを育てる。元仁井田小PTA会長(女性初)。1999年市議会議員に初当選、5期20年務める。

明日のために確かな選択

第50回衆議院議員総選挙

投票日 10月27日(日)

福島県選挙管理委員会・福島県明るい選挙推進協議会



第50回衆議院議員総選挙 投票日10月27日(日)

投票は
18歳から
行えます

投票日に投票できない方は、

期日前投票制度又は不在者投票制度を利用しましょう！！

避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

■ **期間／ 10月16日(水)～10月26日(土)**

■ **時間／ 8：30～20：00 (※ 一部、異なる場合があります)**

期日前投票所によっては、投票できる期間や投票時間が異なる場合がありますので、各市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。福島県選挙管理委員会のホームページに各期日前投票所及び投票時間を掲載しております。

選挙が行われていない福島県外の市区町村で不在者投票を行う場合、不在者投票のできる時間は執務時間内(一般的には平日の8：30から17：00まで)となりますのでご注意ください。

■ **場所／ 期日前投票：各市町村選挙管理委員会が定める場所**

不在者投票：滞在地（避難先）の市区町村選挙管理委員会

**投票所には投票する方と一緒に18歳未満の方も入場できます。
ぜひお子様と投票所へお越しください。**

選挙に関する情報はこちらのサイトから

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/62010a/>

福島県選管

検索

候補者の情報をご覧になれます。



期日前投票はこんなときにできます

**仕事、学業、本人又は親族の
結婚式等の場合**

※自宅で商店等を営んでる方も期日前投票ができます。

※結婚式の仲人や司会、あるいは葬式で手伝うことになっている方も期日前投票ができます。



**投票区の区域外に
出かけたりする場合**

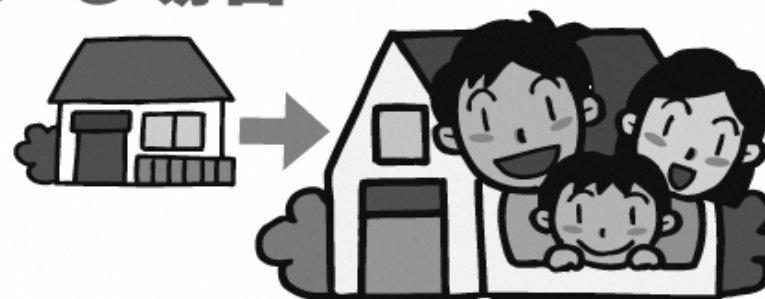
※家族旅行やショッピングに出かける方も期日前投票ができます。



**病気、けが、
出産等のため
歩行ができない
場合**



**引越し等をして他の市町村に
住んでいる場合**



**天災や悪天候
等で投票所に
到達することが
難しい場合**



**大切な一票です。
忘れずに投票
しましょう！**



期日前・不在者投票の詳細については、県選挙管理委員会又は最寄りの各市区町村選挙管理委員会にお問い合わせください。